

悲願の同窓会館建設、現実

会員皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。残暑の厳しい折、まずはご自愛のほどを心よりお祈り申し上げます。

さて、心臓外科分野でわが国を代表される瀨在幸安博士（高校第1回・第10代日本大学総長）におかれましては、去る六月に千曲市では第一号となる名誉市民の栄誉に浴されました。心より敬意とお慶びを申し上げます。これより一ヶ月、岡田千曲市長の命を受け、島田栄一秘書課長（高33回）



瀨在幸安博士の栄誉を祝す

平成27年度の定期総会は、4月25日（土）、千曲市稲荷山「杏泉閣」にて開催された。総会に先立ち、15時から支部長会・学年理事会が持たれ、総会に諮る議題の審議が行われた。それを基に引き続いて16時から総会が開かれた。



平成27年度の定期総会開催

平成二十七年定期総会開催

議事の中心は「同窓会館建設」、「ホームカミング場」。「The People of the Year」、「会費の値上げ」等であった。総会では提案された議事は全て承認され、特に「同窓会館建設」については赤地会長、建設委員会担当の吉川副会長から細かな経緯の説明がなされた。また「会費の値上げ」

とともに、瀨在先生を軽井沢の別荘にお訪ねして、名誉市民並びに同窓会名誉会員としてのご意向をお伺い申し上げます。瀨在博士の卓越された功績とともに感銘を受けたことは、博士の長谷川五作先生（一八八〇・明治十三年）一九六三・昭和三十八年、母校に在職し創立時昭和三十年（一八八〇）に対する限りない尊崇の念でございました。「学問に対する真摯な姿勢に大変感化を受け、今でもその思いに変わらぬ。」

瀨在幸安博士の栄誉を祝す

赤地憲一（高17回）

この度の総会にて、創立九十周年事業で継続課題となっており、「同窓会館建設」につきまして、その着工を満場一致でご賛同賜りました。建設予定地につきましても、附属中学生多目的運動場を予定地とともに、神尾様には、富雄様（平成二十年一月十四日「他界」）及び敦男様の御二代にわたり、格別なご配慮を

同窓会館建設関係 これまでの経緯

昭和四十八年から四十九年にかけて、創立五十周年記念事業として同窓会館建設計画が持ち上がり、約二千万円を募った。折しもこの時期、土地の急騰期を迎え、寄付をいたした二千万円では同窓会館建設費としては十分でないことに加え、学校側から「二スコートの造成及び正門前の整備」について強い要望が出されたことから、寄付金はこれらの経費に充当された。その後、九十周年記念事業として「同窓会館建設準備資

建設委員（〇印委員長）

- 赤地憲一（高17） 会長
- 吉川正徳（高22） 副会長
- 柳澤修嗣（高28） 副会長
- 林愛一郎（高33） 林不動産
- 伊東亮一（高39） 設計事務所
- 同相談役
- 石坂信也（高11） 相談役
- 山岸信蔵（高17） 一級建築士
- 伊藤隆三（高19） 榎守谷商會

新役員人事

- 事務局長に宮原一治氏
- 高校25回卒。在学時は柔道部で県チャンピオン。母校勤務（平成12・18年度）を経て、県教委・保健厚生課指導主事（同19・20年度）に。長野東高校教頭（同26・27年度）等を歴任して、今年度から事務局長と併せて、再任用教諭と

平成26年度屋代高等学校同窓会一般会計決算書

収入金額	6,877,197 円	(自H26.4.1~至H27.3.31)
支出金額	6,298,906 円	
差引残高	578,291 円	(次年度繰越金)

収入の部	科目	予算額	決算額	増△減	備考
1	繰越金	423,845	423,845	0	前年度より繰越金
2	入会金	1,698,000	1,698,000	0	6,000円×新入生283人
3	年会費	4,500,000	4,450,000	△ 50,000	(注) 支部3,014名、振込1,486名
4	協力金	100,000	220,000	△ 120,000	千曲地会 高4回生ホームカミング会
5	頒布品	10,000	10,000	0	会員名簿
6	雑入金	0	75,050	75,050	特別会計より
7	雑収入	1,155	302	△ 853	料子等
合 計		6,733,000	6,877,197	144,197	

平成27年度屋代高等学校同窓会一般会計決算書

収入金額	6,871,000 円	(自H27.4.1~至H28.3.31)
支出金額	6,871,000 円	
差引金額	0 円	(次年度繰越金)

収入の部	科目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	備考
1	繰越金	578,291	423,845	154,446	前年度より繰越金
2	入会金	1,692,000	1,698,000	△ 6,000	6,000円×282人
3	年会費	4,500,000	4,500,000	0	活動支部3,000人、連絡地1,500人
4	協力金	100,000	100,000	0	寄付金
5	頒布品	0	10,000	△ 10,000	
6	雑収入	709	1,155	△ 446	利子
合 計		6,871,000	6,733,000	138,000	

支出の部	科目	予算額	決算額	増△減	備考
1	総会費	170,000	100,467	△ 69,533	総会・懇親会費補助等
2	役員会費	20,000	229,573	209,573	月例役員会等
3	慶弔費	120,000	131,000	11,000	機別金、生花代等
4	旅費	400,000	309,400	△ 90,600	支部会、東京地会への役員出張旅費等
5	通信費	1,100,000	1,178,188	78,188	会報送料、電話料、はがき、切手代
6	消耗品費	35,000	97,021	62,021	用紙、事務用品
7	電算処理費	10,000	37,964	27,964	ホームページ開設、セキュリティ更新
8	支部助成費	850,000	827,300	△ 22,700	会費還元、祝儀等
9	事業費	1,700,000	1,454,455	△ 245,545	会報印刷、大会出場補助、入卒記念品等
10	事務局費	1,600,000	1,337,563	△ 262,437	事務費、人件費等
11	繰出金	300,000	0	△ 300,000	
12	手数料	265,000	286,809	21,809	取扱い手数料、振込み手数料
13	雑費	100,000	303,442	203,442	光熱費、写真代、お中元等
14	予備費	63,000	5,724	△ 57,276	PC修理代
合 計		6,733,000	6,298,906	△ 434,094	

支出の部	科目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	備考
1	総会費	170,000	170,000	0	資料作成費、懇親会費補助金
2	役員会費	110,000	20,000	90,000	月例本部役員会等
3	慶弔費	120,000	120,000	0	香典、弔電、機別
4	旅費	400,000	400,000	0	支部会、東京地会への役員出張旅費等
5	通信費	1,200,000	1,100,000	100,000	会報送料、電話料、はがき、切手代
6	消耗品費	35,000	35,000	0	用紙、事務用品
7	電算処理費	30,000	10,000	20,000	ソフト操作指導料
8	支部助成費	850,000	850,000	0	会費還元、祝儀等
9	事業費	1,700,000	1,700,000	0	会報印刷、大会出場補助、入卒記念品等
10	事務局費	1,500,000	1,600,000	△ 100,000	事務費、人件費等
11	繰出金	100,000	300,000	△ 200,000	地会へ
12	手数料	300,000	265,000	35,000	年会費取扱手数料、振込手数料
13	雑費	300,000	100,000	200,000	光熱費、複合機リース代金
14	予備費	56,000	63,000	△ 7,000	
合 計		6,871,000	6,733,000	138,000	

支部長歴任者へ 感謝状を贈呈

総会席上、二十六年度で退任された各支部長に、同窓会から感謝状と記念品（額縁）が贈られました。長年に亘り支部をまとめられた組織の発展に寄与された各位に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

（順不同・敬称略）

五加 中村忠勝（高6）
雨宮 飯島 誠（高6）
杭瀬下・新田

懇親会盛況 八十一名出席

懇親会には総勢八十一名が出席した。総会出席者数がちょうど百を超える方々がそのまゝ懇親会にも参加してくださいました。今後への期待の大きさとともに、新学年理事の方々への熱意や、これまで支部を引っ張ってこられた方々の思いの重さが表れた盛況の会となりました。

会の中締めとして児玉岳人氏（高54）元立教大

「鳩の会」 二芳志御礼

会報鳩62号でご報告させていただいた後、次の方々からご芳志を戴きました。衷心より御礼申し上げます。

（敬称略 順不同）

倉石雅史（高20）
野澤秀宏（高29）



〒387-8501 長野県千曲市屋代1000
発行所 長野県屋代高等学校 同窓会
電話番号 (026) 274-3310
ホームページ http://hatokai.jpn.org
発行人 赤地 憲一
印刷所 正村印刷株式会社

の件については重要な案件なので、今後じっくりと検討していくことが認められた。最後に支部長歴任者への感謝状贈呈、新役員紹介が行われ閉会となった。なお、決算などについては別稿をご覧ください。

金の確保は、「母校への施設のための資金協力」と共に、大きな柱として位置づけられ、約一千万円を同窓会館建設基金として積み立てを行い資金面での礎を築くことができた。

平成二十七年の総会において「同窓会館建設委員会」の設置が認められたことから、同委員会において会館の機能、規模、位置、資金確保の方法等について検討を行っているところである。

今後の建設スケジュールについては、概ね次のようなものになるかと考えている。

懇親会盛況 八十一名出席

懇親会には総勢八十一名が出席した。総会出席者数がちょうど百を超える方々がそのまゝ懇親会にも参加してくださいました。今後への期待の大きさとともに、新学年理事の方々への熱意や、これまで支部を引っ張ってこられた方々の思いの重さが表れた盛況の会となりました。

会の中締めとして児玉岳人氏（高54）元立教大

同窓会館建設への 篤志寄付御礼

Y氏より五万円の寄付がありました。衷心より御礼申し上げます。

学応援部団長のリードで全員で校歌を声高らかに斉唱すると会の雰囲気は最高潮に達した。今後の同窓会活動の一層の盛り上がりをお祈りして、北島教頭（高31）の万歳三唱で会は終了となった。



さらなる充実に向けて 学校長 塩野英雄

赤地憲一同窓会長をはじめ同窓生の皆様には日頃より本校の教育活動に対しましてご理解とご支援をたまわり心より感謝申し上げます。
学校長を務め二年目を迎えますが、昨年度を振り返った時、卒業生の各地での活躍の報に接しうれしく思うと同時に、改めて今後も一線で活躍できる骨太のリーダーを育てていくべく心を新たにしている次第です。

附属中学校は本年度一期生八十名全員が高校の普通科へ進学しました。中高を合わせて全校で千名弱の県下最大規模の学校になりました。普通科・理科科に中高一貫が加わり、それぞれの魅力と強みが最大限発揮される完成期充実期を迎えております。

「信州若者1000人会議」に端を発する本校卒業生「ハクトール(SSH)」の研究指定
各種コンクール、コンテストにおいても全国レベルの活躍を見せ、昨年度末に行われた「知の甲子園」において全国三百チームの中から本校四チームが準優勝を筆頭に八位入賞を果たしました。クラブ活動においてもその活躍は枚挙にいとまがありません。



附属中学校への思い 副校長 篠原謙治

「土曜日、班活で疲れて勉強ができませんでした。眠いのに勉強、疲れているのに勉強。僕が入学前に描いていた苦痛の日々が訪れたように感じます。僕はこれから思うように点数が取れなくなるかもしれないし、優秀な成績を修めるかもしれません。ですが、『数学者になる』という夢、この学校に来た意味だけは、決して見失わないようにしようと思えました。」
これは、五月に書かれた附属中学校一年生の日記です。彼のように、多くの生徒は屋代高等学校附属中学校へ来る確かな理由と、六年間でこれだけはやるんだという強い決意をもって入学してきます。

また、毎年定員の五倍前後が入学者選抜を受けていることも、「屋代高校で学びたい」とも、

トノスーによる自主的活動にもご支援をいただいております。同窓会による「屋高フットボール」等を含め、生徒一人一人が将来どのように生きていくかというキャリア教育の根本を大切に指導を、生き生きとした生徒の育ちに繋げていく大切さを痛感しております。

ご存じのとおり、中教審において教育関連の議論が活発になってきております。とりわけ高大接続に関しては大学入試制度改革に係る議論も大きく進展しておりますが、狭義の制度改革への対応にとどまらず、未来を切り拓いていくための学び続ける生徒たちが有為なる青年として母校を巣立っていかけるよう、最大限の努力を今後とも注いでまいります。二一世紀を生き抜く骨太で野性味のあるリーダーが輩出されることを期待するとともに、屋代高校同窓会の益々のご発展を祈念して筆をおきます。

彼らに続いて大きく成長してほしいと願っています。
同窓会におかれましては、高等学校並びに附属中学校を物心両面で支えていただいております。大変感謝しております。お陰様で、附属中学校では本年度も「娯楽の棚田体験学習」をやらせていただきました。また、全校の九割の生徒がクラスに所属し、日々の練習や活動に意欲的に取り組んでいます。今後とも皆様の温かなご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

去る六月十四日、神奈川県内で行われた「日本学生陸上選手権」の女子1000Mで、富山大学医学部5年生の宮澤有紀選手(高校第61回・普通科)が自己ベストの11秒60で優勝した。「医学生のアリソンピック候補選手」として注目されて

「女医ナース」宮澤有紀さん、学生日本一
去る六月十四日、神奈川県内で行われた「日本学生陸上選手権」の女子1000Mで、富山大学医学部5年生の宮澤有紀選手(高校第61回・普通科)が自己ベストの11秒60で優勝した。「医学生のアリソンピック候補選手」として注目されて

女子弓道インターハイへ
東日本高等学校弓道大会優勝!
個人(利根川聖花)も優勝!

3年4組 西村友梨香
私たちが女子弓道班は、去る3月27日(29日)にかけて千葉総合スポーツセンター特設弓道場にて開催された第14回東日本高等学校弓道大会(団体五人制競技)において優勝することができました。この大会は全日本弓道連盟の後援を受けており、北海道、東北、関東、北信越の各県の代表一位、二位及び前年度優勝校の44校が集まる極めて大きな大会でした。こうした強豪校の脅く中で優勝できたことは、本当に嬉しいことでした。これも常に日頃ご指導くださった顧問の先生方や、同窓会をはじめとする多くの皆様のご支援があったからだと深く感謝しております。

3年6組 小山 千絵
私は高校一年生の時からずっとインターハイ出場を目標に頑張ってきました。県大会決勝では長野商業の中村あずささんが相手。延長の末小手を決めて優勝。インターハイ出場の権利を手にしました。思えば県大会はほとんど延長で勝ち抜いてきました。これもみな今まで培ってきた体力と精神力に拠るものと思っています。インターハイでもこの調子を保ち、自分のペースで試合に臨みたいと考えています。得意技は「出ばな面」と「小手打ち」。これを県大会以上に極めて、インターハイでも出していったら、と思っています。

個人でインターハイに出場することはプレッシャーがありますが、団体で出場できなかった仲間分まで頑張ったことと思います。また屋代高校代表、長野県代表として今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず最後まで戦ってきます。

男子ハンドボール班班長
3年7組 榎原一真
県大会決勝戦。激戦を制しインターハイ出場の切符を手に入れた瞬間の感動は忘れません。今までの努力が最高の結果として報われた瞬間でした。僕達は新人戦県大会で優勝したものの、その後は二位が続きました。しかし、最後には栄冠を手にしたのは、ハンドボールが好きで、仲間を信じ連携が取れたという点にあると思います。屋代のハンドの強さは「チーム力」。一人一人の光るプレーを活かしつつ、弱いところを補う。一人では限界があってもチームで丸になれば、プレーの幅がどんどん広がります。これが

入試結果と今後の展望
キャリア教育係主任 宇都宮 仁
二〇一五年度入試は、理数先行の新課程初年度入試となり、その出題内容に注目が集まった。初年度入試では平均点が大きく上昇する過去の状況と今回は異なり、七科目(九〇〇点)の理系全国平均点は五六七点(十一点、文系は五四三点(十九点)で、昨年と大差のない結果だった(本校理系は五七六・二点、文系は五五四・二点)。その結果、昨年度でつづいた「文低理高」傾向に若干の歯止めがかかったが、「難関大」「地元国公立大」(資格取得)指向の志願状況に変化はなかった。

筑波二名、横浜国立一名である。また、僅差で合格を逃したが、東京大に現役生三名が挑み、最難関へ挑戦する気運も高まりつつある。本校生は「三兎(勉学・班の志望進路実現を願っている。活・学校行事)を全力で追うことで「自立と自律」の質実剛健を身につけてほしい。その中で、さらに高い目標へ照準を上げ、その結果として

「入試結果と今後の展望」
キャリア教育係主任 宇都宮 仁
二〇一五年度入試は、理数先行の新課程初年度入試となり、その出題内容に注目が集まった。初年度入試では平均点が大きく上昇する過去の状況と今回は異なり、七科目(九〇〇点)の理系全国平均点は五六七点(十一点、文系は五四三点(十九点)で、昨年と大差のない結果だった(本校理系は五七六・二点、文系は五五四・二点)。その結果、昨年度でつづいた「文低理高」傾向に若干の歯止めがかかったが、「難関大」「地元国公立大」(資格取得)指向の志願状況に変化はなかった。

本校生は、約九九%がセンター試験に受験し、中後期日程まで諦めずに粘り、現役国公立大合格者は過去三年間では最多の一二五名。国公立大合格率と進学率は県下一位と健闘した。主な合格内訳は信大四〇名(過去三年最多)、医学科一名、北海道二名、東北六名、東京工業一名、東京医科歯科一名、千葉二名、

勝利の要因です。
僕達の夢はまだ完結していません。インターハイの舞台でも「チーム力」を発揮して勝ち進みたい。皆がチームのために何ができるか。「考える力」を持っているからこそ、僕達はまだまだ進化します。このチームでもっともと思ってい出を残したいと思っています。最後に、僕達がかこまて来られたのも顧問の先生方をはじめ、保護者の方々、応援し支えてくださった全ての方々のお蔭です。本当に感謝いたします。屋代高校生としての誇りを胸に全力で全国に挑戦してきます!

運動班関係の成績
北信越大会 県大会 備考
サッカー
ハンドボール
柔道
陸上水泳
バドミントン
バレーボール
剣道
山岳
バドミントン
卓球
テニス
ソフトテニス
弓道
空手道

2015年度 屋代高等学校 大学入試結果 (現役・既卒生延べ合格者数)

私立大学	現役	既卒	合計	私立大学	現役	既卒	合計
青山学院	3	5	8	法政	6	10	16
武蔵野	1	5	6	武蔵野	3	12	15
桜美林	1	1	2	東都	3	10	13
学習院	1	1	2	東都	5	5	10
北里	1	8	9	明治	5	6	11
共立	5	1	6	明治	3	1	4
杏林	6	1	7	明星	1	2	3
工学院	4	2	6	立教	1	4	5
國學院	7	6	13	早稲田	1	3	4
国士館	2	2	4	神奈川工科	1	1	2
駒澤	13	8	21	神奈川	5	12	17
駒沢女子	1	1	2	関東学院	3	1	4
実践女子	2	2	4	東洋英和女学院	1	2	3
実践女子	4	15	19	フェリス学院	2	2	4
順天	2	2	4	新潟医療福祉	4	4	8
上智	1	1	2	新潟薬科	2	2	4
横浜国立	2	2	4	金沢工業	6	5	11
筑波	1	1	2	金沢工業	1	1	2
筑波	2	2	4	依久	1	1	2
宇都宮	5	5	10	昭和女子	2	2	4
富山県立	1	1	2	昭和女子	1	1	2
富山県立	1	1	2	聖心女子	1	1	2
埼玉	2	2	4	聖心女子	1	1	2
千葉	3	1	4	専修	10	9	19
東京医科歯科	1	1	2	大東文化	2	4	6
東京学芸	1	2	3	東京文化	3	3	6
東京工業	1	1	2	長野県立	6	6	12
東京農工	1	1	2	山梨県立	1	1	2
新潟	6	3	9	静岡	6	6	12
新潟	2	2	4	兵庫	1	1	2
高井	6	6	12	名古屋	1	1	2
金沢	5	5	10	大阪府立	1	1	2
山梨	1	1	2	公立大	24	7	31
信州	40	10	50	国公立大	125	37	162
静岡	1	2	3	短大	10	0	10
岐阜	1	1	2	専門学校等	9	0	9
愛知教育	1	1	2	現役生 7クラス (266名)			
名古屋	1	1	2				
京都教育	1	1	2				
兵庫教育	1	1	2				
奈良教育	1	1	2				
鳥取	1	1	2				
岡山	1	1	2				
国立大	101	30	131				

国立大学	現役	既卒	合計	国立大学	現役	既卒	合計
北海道	2	2	4	高崎経済	5	1	6
北海道教育	1	1	2	群馬工	1	1	2
国立大	101	30	131	群馬県立	1	1	2
公立大	24	7	31	群馬県立	1	1	2
国公立大	125	37	162	埼玉	1	1	2
私立大	252	204	456	埼玉	1	1	2
短大	10	0	10	埼玉	1	1	2
専門学校等	9	0	9	埼玉	1	1	2

私立大学	現役	既卒	合計	私立大学	現役	既卒	合計
国際医療福祉	2	3	5	法政	6	10	16
国際医療福祉	2	3	5	武蔵野	3	12	15
高崎健康福祉	3	3	6	東都	3	10	13
城西	1	1	2	東都	5	5	10
文協	4	1	5	明治	5	6	11
文協	10	8	18	明星	1	2	3
文京学院	1	1	2	立教	1	4	5
文京学院	1	1	2	早稲田	1	3	4
千葉科学	1	1	2	神奈川工科	1	1	2